

 園長だより NO.33 17.1.7 (Tue)

今日からいよいよ学期ですね。冬休み前に「園長だより」で、「お母さん！見てよ」に反応をあげて下さりねと、話題にさせて頂きました。今は寒期で、なかなかテ外遊びも寒いかと思いが……。丁度、冬休み中に預り保育を担当させていただいた所に……。鉄棒が出来る様になり、前回、逆上り、連続逆上り、足掛け回りを得意になって見せてくれたり。いきなり「園長先生！見てよ」の後に、友達と側転をデュエットでシンクロさせ（12月24日火）披露してくれたり。アスレチックの垂直梯子をふん（のイスタリアップさせて）ふんいながら懸命に登った末に、「ど〜だ〜」と頂いてあります。言わんばかりの得意気な表情を見せてくれたり！

午前中ずうとのテ外遊びでは、「園長先生！見てよ」のオンパレードでした。

そんな中で、もうひとつ子ども達からよく掛けて貰える言葉が、

「園長先生！一緒にやるよ」「園長先生！こっちに来てよ」です。アスレチックのてっぺんで「園長先生！こっち来て、一緒に滑るよ」とお誘いしてくれたり、園庭のちょっとした隅っこをおうちに見立てて、「おうちごっこ」でお姉さんを任命され、「お姉さん！学校へ行く時間よ〜！行ってらっしゃ〜りの車に気をつけるのよ〜」なんて送り出されたり。体がひとつでは足りない程に呼んで頂き、大忙しで時の経つのもあ〜という間でした。

「童心に返る」と言いますが、私達は有難い事に、日々童心というが、素で子ども達と寄り添って遊べるって、心も穏やかになり、幸せな仕事に就かせて頂いているんだな〜と、つくづく思ったんです。

そして、何より一緒に遊んでいる時の子ども達の笑顔が、いいんです!!! 滑り台を滑った後なんかは、「きゃはは〜〜〜もう一回」と、大笑いの時を共有する間もなく、即座にリポートをリクエストしてくれるんです。

子どもとの「楽しい」「嬉しい」を共有する事により、子どもは勿論のこと、自身の心身共に健康にも直結するな〜と、改めて実感しました。そして、子どもとの時を共有する事は、子どもの心も満足と充実感で自己肯定感が育まれていく事は、間違ありません。

子どもの成長は早いものです。子どもからのお誘いの言葉に、慌しく忙しい毎日、時に億劫だな〜と思ってしまう事もあるかと思いが、お母さんを必要とし、声を掛けてくれる時期は、今だけです。子どもはじきに巣立っていくてしまいます。時を共有出来なくなつてから、その尊さに気付くものです。

類にもれず、私がそれを日々痛感しているのでも、**自身の子育てで**声を大にして言いたいんです。「お母さん見てよ」「お母さん、一緒にやる」「お母さん、こっち来てよ」そう声を掛けてくれる、必要としてくれる「今」を大切にお過ごし下さいね。



この学期は日数も少なく、今まで以上にすぐに過ぎてしまう様に感じるのは私だけでしょうか。子ども達との共有出来る時間「先生！見てよ～」に思いきり充て、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っております。

この学期も宜しくお願ひ致します。



P.S. / インフルエンザ流行の波もじわじわ迫りつつあります。

手洗い・うがいの励行をお願いすると共に、朝の調子を診て、食欲や元気が無いなど、いつもと違う様子の場合は、大事をとられて、お休みして頂くよう宜しくお願ひ致します。

また、園にて急に発熱をし、ご連絡させて頂く機会が多くなっています。日中は、必ず連絡がつく環境を整えて頂きますよう、宜しくお願ひ致します。

